18.8.7 原本

中國新聞
發行所
廣島市上流川町二番地
中國新聞社
電話代表（中）②長三番
振替口座廣島五〇〇番
發行編輯印刷人增田幹吾

ルンガ河三角洲の敵司令部へ突入
歸らぬ大野挺進隊
ガ島決戰に不滅の偉勳

敗戰續きのアメリカが頽勢を挽回せんとして必死の反攻をガダルカナル島に加へ來つてから滿一ケ年、壓倒的な敵兵力に對しガダルカナル守備隊が寡兵年餘奮戰してその作戰目的を達成敵兵をして眞の日本軍の強さを知らしめたことはすでに中澤、寺澤兩挺進隊の果敢なる奮鬪に幾多の實例を見るが、中澤、寺澤兩挺進隊につゞいて、敵の猛烈なる攻擊と艦砲射擊下に第二回挺進隊として決死ルンガ河三角洲にある敵の高等司令部に突入、壯烈な戰死をとげた大野廣志中尉を隊長とし、井島伍長、杉山上等兵を隊員とする大野挺進隊の奮戰ぶりが敵兵がガダルカナル島に上陸してから滿一年目の今日森川陸軍報道班員によつて發表された

ガダルカナル決戰場で敵司令部に斬込み歸らざる斥候大野廣志中尉（士官候補生當時）

【南太平洋前線にて陸軍報道班員森川賢司發】

一、大野挺進隊

隊長陸軍中尉　大野廣志（岐阜縣惠那郡中津町駒場字崎）
陸軍伍長　井島佐千雄（靜岡縣濱名郡神久呂村神ケ谷四二六四）
陸軍上等兵　杉山勝次（愛知縣碧海郡安城町里地）

二、決死敵地へ突入

アメリカ軍の暴虐にいつも齒がみして憤激してゐた大野中尉は、中澤、寺澤挺進隊のことを耳にするとゐてもたつてもをられず

『日本軍人として最大の痛快事だ敵の司令部あたりに飛込んで敵司令官を叩き斬つたらこの溜飲がぐつと下るだらう』

と熱烈な志願をした

『大野を長とする挺進隊を是非命令して下さい』

中尉は部隊長に歎願した、部隊長は中尉の熱烈なるこの軍人精神に胸うたれたが、どうすることも出來なかつた

『第一回挺進隊はすでに決定したのであるから第二回を待つてやうに』

と慰められまた勵まされた、中尉は殘念だが劍を撫して次回を待つた

『日本軍人としてこの壯擧に參加せずんば男子と生れた甲斐がない』

中尉は是非命令が自分に來るやうにと毎日神に祈つてゐた、中尉の兵科は步兵で、司令部で勤務してゐる、劍道は三段の猛者で劍の鋭さと素早さは同僚の羨望の的であつて敵の盲爆と艦砲射擊は日增しに激烈になり、彼らの殘虐性は日とともにその野獸性を發揮した

『畜生ツ、ヤンキーめ、片ツ端から叩き斬つてやる』

中尉は自信あるだけに腕はうなる、軍刀は夜泣した

十二月二十一日

……陸軍中尉大野廣志以下三名はルンガ河三角洲にある敵の高等司令部を奇襲し、重要軍事物件を破壞すべし……

といふ命令が中尉の手に渡された、中尉のよろこびはどんなであつたらう

『神は自分の心情を憐れみ給ひこの命令を御下し給はれた、有難や有難や』

彼は泣いて神に謝し、自分の幸福を感ずるとともにその成功を祈つたのである、部下の井島伍長と杉山上等兵は寺澤挺進隊の出身隊である岩淵部隊擢隊から選拔された下士官と兵であつた

大野中尉は司令部附であるが豪膽無比、烈々たる氣概の持主である、井原伍長は常に明朗な下士官と上下の信望も厚く責任觀念の旺盛なそして沈着豪膽な男であつたまた杉山上等兵はむつつり屋で、一日でも二日でも無駄な口を利かぬといふ性質であつたが、仕事は非常に眞面目な一度與へられたものは、どんなむつかしいことでもきつとやり通すといふ意思の鞏固な兵隊であつた三人ともその性格が一風異つてゐたが、いろいろな打合のため三日間一所に起居してゐたその間に三人は十年の知己の如き親密さになつたのには驚いた

もちろん井島にしろ杉山にしろ隊長である自分が選拔した優秀な下士官と兵であるから間違ひのあるべきはずがない、當時井島は二十三歲、杉山は二十五歲であつた、齋藤隊長は當時のことをかう語してゐた

無上の光榮に感激した中尉は兵團長に申告した

『御苦勞ぢやしつかり賴むぞ』

兵團長は笑つて死地へ飛込む部下の顏を瞼を熱くして眺めた

『中澤、寺澤兩挺進隊といひまた大野挺身隊といひ敢然と死地へ飛び込み死することを歸するが如き感をもつてゐる日本兵の強さははかり知れない、わしはよい部下をもつて幸福だ』

兵團長は心の中で部下をほめ感謝してゐた、やがて兵團長手づから恩賜の御酒と煙草を贈つた、無限の皇慮に感激した中尉は

『誓つて誓つて聖慮に報い奉ります』

と誓つたのであつた、二十四日夜戰友たちの奔走で中尉の壯途を祝する會食を暗い壕內で開いた、敵彈の炸裂する響きは物凄い

『大野中尉念願が叶つて嬉しいだらうな』と部隊長は中尉の肩を叩いて笑つた

『軍人としてこんな名譽なことはありません』

『敵の警戒はますます嚴重になつてゐるらしい、十分なる警戒心を發揮して突入しなければならない』

『成功を祈るぞ』

『大野しつかりやつて來い』

『例の夜なきする寶刀で快刀亂麻の勇を揮つて來い』

同僚はそれぞれ激勵の言葉を與へた、中尉は始終默々として微笑を浮べてゐた、明けて二十五日八時一同に送られて中尉は露營地を出發した、その際一通の手紙を部隊長の手に殘して行つた

封筒の表には『閣下各位』と書き、裏面には『十二月二十五日出發に際し大野廣志』と書いてあり內部の便箋には

閣下始メ各位、大野中尉ハ良キ死場所ヲ與ヘラレ感謝シ喜ンデ死ンデ行キマス
必死必成、誓ツテ聖慮ヲ安ンジ奉リマス
長期間ニ亘ル御指導御鞭撻ヲ感謝シ厚ク御禮申上ゲマス

と青鉛筆で走り書きしてゐた、そして

『部隊長決行の豫定は一月六日の夜半であります』

と自信あり氣につぶやいて行つた、大野挺進隊の成功疑ひなしと誰もが思つてゐたし、さう念じてゐた齋藤隊では井島伍長と杉山上等兵が帶劍、拳銃に身につけて支度をなし、爆藥、黃色藥、手榴彈鐵條鋏、磁石、鋸、鉈、手袋など萬端の準備を整へて待つてゐた

『大野挺進隊萬歲』

『成功を祈ります』

中尉は岩淵部隊長に『一月六日夜半決行、十五日ごろ歸へる豫定であります』と豫定日取りを報告し、部下を借りたことを感謝した一行は岩淵部隊全員に送られて丸山街道をアウステン山に向つて砲煙彈雨の中の惡道を進んだ、そしてアウステン山の北麓に陣地を占領し敵の背後を睨んでゐる稻垣部隊に到着した

稻垣部隊の前面には敵が三、四日敵地を占領して日夜激戰を繰返してをるときであつた、稻垣部隊は當時糧食缺乏し彈藥は日に日に不足を告げるといふ有樣で、兵隊たちはあらゆる困苦を忍び隊長を中心に一丸となつて戰つてゐるときであつた、部隊長は中尉に敵狀地形を詳細に說明し

『前面から突入することが目下のところ容易なことでない、それより斷崖絕壁、進む道は非常に困難ではあるがルンガ河に沿ふて突入する方がよいかと思はれる』

と結んだ、その夜中尉は地圖を頭に浮べて進むべき道を考へた、明けて十二月二十七日四時三十分稻垣部隊に別れを告げて鬱なほ暗いジャングル地帶へ飛込んだ

三、その後の挺進隊

その後大野挺身隊の消息は杳として斷つた、『肝是全身膽是全身』の大野中尉はどうしたらう、工兵として爆破に任じた井島伍長や杉山上等兵はどうしたらう、その成否を確認することは出來ないけれども、山本軍醫大尉が

『一月六日夜半ルンガ河三角洲あたりに濛濛たる二條の黑煙が立昇り紅蓮の焰さへ見え、ルンガ河方面の敵の砲は一時鳴をしづめた』

と報じた、またわが陣地でも

『一月六日の夜半ルンガ河下流にあたつて二條の黑煙をはつきり見た』

と報じてゐる

われわれは大野中尉が出發の際『一月六日夜半決行する豫定である』といふ言葉から目的を達したものであると信じなければならない、われわれは大野中尉の燃ゆるやうな愛國心と敵を斃さずんば死すとも止まぬといふ烈々たる氣魄とを想像するとき、必ずや任務を遂行したものと解される、またわれわれは蔓を傳はつて斷崖を攀登り、あるひは藤蔓に縋つて千仞の谷底へ下り、あるひは曲りくねつてルンガ河を幾度か橫切り、あるひは千古斧鉞のジャングルなどを切開き切開き、ときには敵の斥候と遭遇し、これを一刀兩斷のもとに斬りながら下へ下へと進む大野挺進隊を想像することが出來る

挺進隊は一月六日敵司令部に潛入その夜井島伍長と杉山上等兵とが手分けして二ケ所を爆破し、敵の司令官はじめ幕僚連中の狼狽へ騷ぐ中を

『己れツ恨み重なる米兵奴ツ、日本刀の斬味を見ろツ、戰友の仇だツ』

とあるひは袈裟掛けに、あるひは唐竹割に血刀揮つて阿修羅の如く荒廻る大野中尉の姿が彷彿として浮んで來る、私のこの想像はおそらくあたらぬとも遠からずであると信じて疑はない、すでに警戒嚴重な敵地へ突入するだけでも人間業でなく神である、およそ神國に生を享け死生を超越して只ひたすら君のため國のために人事を盡すとき、天佑神助がないと誰がいへよう大野挺進隊は必ず天佑神助を受けて目的を達してをるルンガ河下流地區の敵司令部あたりに二條の黑煙が上つたといふことはこれを實證するものであらう大野中尉の豪膽、井島伍長の沈着杉山上等兵の眞面目さから推してもわれわれは斷じて疑はない

獨大使土外相會見

【イスタンブール六日發同盟】トルコ駐箚獨大使フランツ・フォン・パーペン氏は四日夜ボスポロス沿岸テラピアの別莊にトルコ外相メネメンジョグル氏を招き晚餐をともにした

融資を簡易化
自作農創設法規を改正

農林省では皇國農村確立推進運動の一施策として本年度以降昭和四十二年までを一期とする第三次自作農創設維持事業を展開すべく準備中のところ、今回いよいよこれが關係法規たる農地調整法施行令同施行規則ならびに登錄稅法施行規則をそれぞれ改正、事業の簡易化と促進をはかることになり、七日附官報をもつて告示十日から實施する、自作農創設維持事業は大正十五年創始以來今日にいたるまですでに十八年を經過、その間今回の改訂を含めて三回の計畫改訂を見たが、その概要を示せば

第一次計畫　大正十五年以降二十五年を一期とし、簡易生命保險積立金その他の資金四億六千八百五十萬圓をもつて耕作地總面積のおよそ二十四分の一に相當する十一萬七千町步を自作農地化する

第二次計畫　昭和十二年以降二十五年を一期とし、簡易保險積立金預金部資金など總額十億圓をもつて小作農面積の七分の一強にあたる凡そ四十一萬七千町步を自作農地化する

第三次計畫　昭和十八年以降二十五年を一期とし小作地二百八十萬町步のうち百五十萬町步及び開墾地五十萬町步、計二百萬町步に對して自作農を創設する、このうち第一年度においては資金一億八千萬圓をもつて既墾地三萬町步、開墾地一萬町步に創設する計畫である

以上の如くであつて昭和十七年十月末現在における過去十七ケ年の事業實績を綜合するに、總額二億五千萬圓の資金を融通して十七萬町步を自作農地化し、二十六萬戶の自作農創設を行つたが、當初の計畫に比して概して進捗を見てゐない狀況により、今回の法令改正は過去におけるかゝる經驗にもとづき資金融通の道を一層簡易化乃至緩和してこれが積極的促進をはからんとするところにその狙ひがあり、改正の要點は次の通りである

一、道府縣市町村または部落農業團體の行ふ自作農創設後事業は從來の自作農創設者に對する土地購入資金の貸付、土地購入により生じたる債務の借替に必要なる資金の貸付開墾に對する助成などのほか新たに次の三つの場合を追加した

（一）自作地となすべき土地の特殊斡旋
（二）創設資金借受の斡旋
（三）自作地となすべき土地開發に對する助成ならびにこれが利用に必要なる施設の取得斡旋

一、同じく農業團體の行ふ自作農維持事業についても從來通り自作農地購入によつて生じたる債務に對して助成するほか今後は對象となる自作農家の負擔する一切の債務借替に必要なる資金に對しても融資し、または借受の斡旋を行ひ得ることにしもつて自作農の小作農脫落を防止する

一、從來小作地を自作農地化する際該土地を耕作する小作者の承諾を得ることになつてゐたが、今回これを削除しこれによつて耕地を失ふ小作者に對しては極力開墾地乃至滿洲移住を慫慂斡旋し萬全の措置を講ずる

一、從來の自作農創設維持に對する資金融通は原則として最高六千圓、特別の場合は八千圓となつてゐたが、今後は金額で限度を示さず、面積をもつて限定しこの面積は農林大臣の認可を受け地方長官の定むる最高標準を超えざること

人民の幸福が目標
比島建國に挺身
ラウレル氏決意を語る

【マニラ五日發同盟】狙擊事件以來療養中であつた比島獨立準備委員會委員長ホセ・ピー・ラウレル氏は去月二十日退院したが、五日マニラ市の自邸において日比記者團と初の共同會見を行ひ、比島建國の理想につき次のやうな一問一答を行つた

問　死線を越えて現在獨立準備に邁進しつゝある貴下の覺悟と抱負につき率直なる感想を承りたい

答　私の身體も現在かくの如く回復することが出來た、日本武士は七度生れてさらに君國のために盡す覺悟をもつてゐるといつてゐるが、自分も七生報國の誓ひを固め、責任をもつてあらゆるものを犧牲にして新比島建國の大業に挺身する覺悟を固めてゐる

問　獨立準備の進捗ぶり如何

答　東條首相の來比せる際不幸にも自分は病臥中であつたが、その後不肖獨立準備委員長に選任された、數日後委員たちと病院で會見し、五つの分科委員會を設け、目下憲法起草そのほか委員會の報告が作成せられつゝあり、憲法起草その他は本年末までに完成の見込である

問　獨立準備の根本方針如何

答　比島建國の根本方針は比島獨立革命の志士ボニファシオの述べた愛國の信條すなはち『國家政策の基調は人民の福祉にあり、人民の幸福こそはあらゆる政策の最高目標である』といふ言葉に盡きる、これなくしていかなる國家がいかなる政策を取らうとも失敗するであらう、比島民を幸福にすることが政府の指導方針であり精神である

問　獨立準備を行ひつゝある間に最も苦心を拂ふ點はなにか

答　治安經濟に困難な問題は前途に山積してゐるが目下のところきはめて圓滿な進行ぶりを示してゐる

問　新比島建國の理想如何

答　建國の精神は三つにわけることが出來る、すなはち道義國家の確立大東亞隣邦との結合、大東亞の共存共榮がそれである、大東亞共榮圈の確立も共同防衞もすべてこの三つに歸する

問　民心をもつと凝集し昂揚せしめる意向なきや

答　民心の同一目的への結合はいふべくして行ふは難い、アメリカ四十年の統治は比島人に對しアメリカへの親しみを與へたことは爭はれず、これを早急に一掃することはむつかしい、しかし獨立後の比島は強力なる力をもつて民心の結合に全力をつくす覺悟で、カリバピ運動はその意味で成果をあげつゝあるといへる

問　米英的思想より東亞共榮精神への轉換方策如何

答　余はデモクラシーにしろ自由主義にしろ主義の問題ではなくて政府指導者がいかによく民衆を指導して國家目的を達成し、人民の福祉を獲得するかにあると思ふ、國民が政府を支持し政府が國民を可愛がる親子の關係がよき國家を生むのだ

問　青年の精神教育の方針如何

答　よき教育はよき鑄型を發見することにある、不幸にして比島は過去の歷史においてスペイン的なまたアメリカ的な鑄型しか發見出來なかつた、しかし幸ひにして日本との結合によつて比島は今物質文明より精神文明へとはじめて還元せんとしてをり、今や教育方針にも大轉換が行はれんとしてゐる

問　獨立の基本方針となるものは何か

答　第一に實經濟の確立、第二に東亞隣邦との協力、第三に大東亞を繁榮せしめることである

問　治安の改善策如何

答　治安問題はあらゆる政策の發足點となるものであり、治安全からずして食糧增産も交通網の改善もない、まづ警察機構を強化して新國家の安寧秩序を確保する方針である、しかしそのためには結局日本軍の多大な援助によらねばならぬと考へてゐる

問　經濟自給策に關聯し比島人の統制經濟に對する理解程度如何

答　新國家はあくまで經濟的に自給せねばならず、そのためすでに周緻の政策が進められてゐる、しかし戰時下經濟の運營が統制經濟となるは止むを得ず、比島人には統制經濟は最初の經驗なのでまだまだ日本人に十分學び、自分らも研究せねばならぬと思つてゐる

問　交通政策は如何

答　まづ海上交通の再建のために造船に拍車をかけることであり、すでに多くの造船所で現地造船が行はれてゐる、また陸上交通は米國時代の自動車交通中心主義を一擲して鐵道の強化をはかるつもりである

問　新比島の文化創成の基礎如何

答　比島の文化は西洋的であることがよく攻擊されるが、しかし現在比島の文化から西洋的なものを全部驅逐したらほとんど何も殘るまい、日本は同じく西洋文化の影響を受けてもそれをよく消化した上吸收したが、比島の場合は無差別にとり入れたのであり、今後比島の文化はその意味で眞に傳統を生かしつゝ東洋的文化をつくり出すことに努力したいと思つてゐる

南部ルソンの遊擊隊潰滅
總司令ストローン逮捕

【マニラ六日發同盟】南部ルソン遊擊隊總司令元米軍中佐ストローンは五日拂曉リサール、ラグナ洲境の山中マラヤ部落で〇〇部隊のため逮捕された、ストローン中佐はマツキンレイ要塞勤務後一九三五年豫備役に編入され、鑛山を經營する傍ら對日宣傳の中心人物として活躍してゐたが、米軍が敗退するや逸早くゲリラ隊を編成して暗躍、南部ルソンの山岳地帶を根據に暴虐の限りをつくしてゐたもので、獨立準備委員長ラウレル狙擊事件はじめ在マニラ警備有力者の暗殺事件などいづれもストローンの指令にもとづくものであつたストローンの逮捕によつて南部ルソンのゲリラ隊はこゝに完全に潰滅されるにいたつた

青島警備總隊の戰果

【青島六日發同盟】青島市警備總隊は同地北方二十五キロの嶗山山頂に盤踞する蔣系僞保安隊を掃蕩中であるが六月二十一日から八月三日までに左のやうな戰果をあげた

敵遺棄屍四七二、捕虜九四、鹵獲品輕機二、小銃二二〇、拳銃二〇、手榴彈四、五二〇、覆滅敵施設兵器廠三、その他各種彈藥庫多數

山東半島掃共戰果

【青島六日發同盟】山東半島に掃共戰を續行中のわが〇〇部隊七月中の綜合戰果次の通り

交戰回數五六、交戰敵兵力一三六二八、覆滅施設三、敵遺棄死體七五五、捕虜一一六、鹵獲品迫擊砲二、同彈八二、輕機二、自動小銃七、小銃四九三、同彈三七〇五、拳銃二九、手榴彈二、〇三〇、電話器二、その他多數

敵空軍慴伏
支那派遣軍週間戰況

【南京六日發同盟】支那派遣軍週間戰況（八月六日發表）前月十日以來華北において開始された十八夏太行作戰は敵の十八春太行作戰においてその據點を覆滅せられからうじて太行山脈南部地區に蠢動殘喘を保ちつゝ華北の最後の遊擊據點を再建せんと企圖してゐた劉進麾下敗殘第二十七軍を徹底的に殲滅し殆どその目的を達成し、引續きわが航空部隊の密接なる協力下に潰走する敗殘匪團を掃蕩剔抉中である、また本作戰においてすでに敵豫備第八師長劉孝強中將をはじめ投降捕虜敵兵實に六千二百を算し、また鹵獲兵器中主なるものは追擊砲一七、重機一二六、小銃一、三三二などの戰果をあげてゐる、一方在支米空軍擊滅戰においては先月三十一日までにすでに敵の誇るP40型戰鬪機四十四を擊墜するとともに、わが連日の猛爆は敵が航空戰新基地とたのむ衡陽、零陵、芷江、遂川、建甌、桂林を爆碎制壓し、今や敵空軍をして慴伏せしめつゝある、かくの如く空陸よりするわが殲滅戰は不斷かつ熾烈に繼續せられつゝあり、抗戰陣營に與へた損害はけだし甚大なるものがある

漢口駐屯の佛兵引揚げ

【漢口六日發同盟】漢口駐屯の佛兵三十餘名は今回當地を引揚げ〇〇に向ふことになり六日下航した

タイ國外相招待晚餐會（於帝國ホテル、〇印タイ國外相、×印青木大東亞相＝寫眞）

戰爭完遂の決意
タイ國外相歡迎晚餐會

青木大東亞相主催のウイチツトタイ國外相歡迎晚餐會は六日午後六時半から帝國ホテルで開催主賓としてウイチツト外相以下隨員一行、駐日タイ國大使館員、陪賓として廣田元外相、岡部文相、松平式部長官、天羽情報局總裁、松本外務次官、藤山日商會頭、大谷船舶運營會總裁、向井三井物産會長ら朝野の名士多數、大東亞省側から青木大東亞相、山本次官以下各局長ら出席席上青木大東亞相は左のやうな歡迎の挨拶を述べ、これに對しウイチツトタイ國外相は日泰相攜へて大東亞戰爭完遂に邁進すべき決意を披瀝、歡談をつくして午後八時過ぎ散會した

【青木大東亞相挨拶】帝國のタイ國に對する態度方針は萬邦をして各その所を得しめんとする宏遠なる皇謨にしたがひ、タイ國の獨立と主權とを尊重するはもちろん、さらに進んで同國が大東亞共榮圈の樞要なる一環として興隆せんことを冀ひ、その國運の伸張のためわが方においても能ふ限り協力を致さんとするにある、他方タイ國の側においてもこれに相呼應し、わが方に對し軍事上、經濟上各般にわたり協力の實をあげられ、もつて共同の戰爭の遂行と共同の建設に向ひ萬難を排し邁進せられつゝあるのであつて、兩國の結合はいよいよ強化し緊密の度を加へつゝあることは兩國のため、はたまた大東亞全體のため同慶にたへない

【ウイチツトタイ外相答辭】タイ國に對する日本の態度方針などについてはタイ國民のすべては聲明約束または條約によらず徹底的に了解してゐるものである、日本の好意こそいかなる言葉または條文よりも明らかな證據となるのである、マライの四州は血肉を犧牲として帝國陸海軍の大東亞戰爭によりイギリスより取り戾されたものであることはわれわれタイ國民の周知のところであるが、右四州をタイ國の領土に編入することに日本側が好意を示したことは最大の御厚情と認めなければならぬ、マライの四州を日本の贈物と認めればそれは貴重な贈物である、右四州は帝國陸海軍の將兵の血肉によつてつくられた日本の贈物であるから、いかなるものよりも特に貴い贈物と考へなければならぬタイ國國民のすべてはかかる事實をよく考へ、日本のかゝる好意に對して最大の感謝を表する次第である、私は日タイ兩國間の親善關係ならびに協力關係の確立を唯一の贈物として働いて參つたのである、なぜに私が主なる親日家であるかを時々質問されるが、それに對して私の唯一の答はすなはち私は非常にタイ國を愛するが故に親日家となるのである、また以前より日本はタイ國に對してなんらの害も與へたことなく、日本はタイ國に對してあらゆる友情を示して來たのであるから、私は大いに親日家である、しかして將來においてタイ國を發展せしめる唯一の道は兄弟の如く日本と協力することである、現在の重大なる時局においては同盟國が互ひに眞心を示さなければならぬといふのが私の意見である

華北省市長會議
わが對華新政策の徹底

【北京六日發同盟】王克敏華北政務委員會委員長は來る八日就任後最初の華北各省市長會議を開催し華北自強策の中心問題たる食糧および掃共對策につき再檢討を加へることになつたが、右に關し同委員會情報局長は六日左の通り發表

華北政務委員會は日本の對中國新施策に對應し戰時體制を強化するため八日華北各省市長會議を開催することになれり

なほ今次會議に日本の對華新政策徹底の議題を追加議題としてあげてゐるが、これは同委員會が日本の道義に應へて華北諸建設推進のため眞劍な努力を拂ひ實踐に邁進せんとする證左として注目される

英議會休會

【リスボン六日發同盟】ロンドン來電＝イギリス議會は六日休會に入つたが、休會に先だち上下兩院とも活潑なる論戰を展開した、先づ上院では戰況討議が行はれ、政府側を代表して國璽尚書兼院內總務ロバート・クランボーンは

イタリア新政權に對する米英兩國の態度はソ聯政府の完全に認めるところで、スターリン議長は對伊戰に關し米英兩國がとつたあらゆる措置に關し通告を受けてゐる

と述べた、イタリアに對する謀略をイギリス政府が狐疑逡巡したため好機を逸したとの非難に對し次の通り釋明した

イタリアに對する空襲が一時不活潑になつてゐるのは單に天候の條件によるだけで、イギリス政府がイタリアの新政權に對しファシスト政府より完全な取扱をしようとしてゐるといふ事實によるものではない、またシチリア島の作戰がイタリアに不活潑であつたのは政治的考慮にもとづくのではなく軍事的必要であつた、シチリア島の反樞軸軍は今後なほ增強され新攻勢で開始される前に再編成されなければならない

第二回協議會長會議
地方會議の成果擴張へ
〈十七日開く〉

全國九地方行政協議會は先月三十日の近畿地方行政協議會を皮切りに六日の東北地方地方行政協議會までで既に東北、北海道、中國、關東、九州の七地方を終了し、後は九日、十日の四國、十日の北陸兩地方を殘すのみとなつたが、すでに終了した七地方の地方行政協議會の成果を見るに、各會長の熱意と委員の協力とにより豫期以上の效果を擧げつゝあり、政府が當初目標とした戰力增強策への隘路打開、卑近なる問題の着實なる即時處理の點などは十分各委員に徹底し、各地方ともその後幹事會あるひは小委員會などにおいて引續き協議事項の即時實施方策を考究中であるが、政府はこの第一回地方協議會の重大なる成果をさらに一層效果あらしむべく、來る十七日東京に第二回全國九地方行政協議會長會議を招集し、各地方行政協議會長の報告を基礎に國家の綜合戰力增強の見地から種々協議を行ふことになつた

東北地方行政協議會

第一回東北地方行政協議會は食糧の增産ならびに自給確保、輸送力の增強の二大事項を中心として議案の審議を進め、即決的に全議案三十數件を處理、多大の實效收穫を收めて四時半散會した、今回の協議會は會長の敢鬪實踐決意が協議に反映し極めて順調に進行豫期以上の成果をあげたが、特に東北六縣の特殊性が忌憚なく摘出され、この決戰體制下に戰力增強、食糧增産上東北地方の占る位置が明確化されたことは大いなる收穫といへる、かくて協議會は七日は懇談會として引續き協議を行ひ、議案の具體的實施方策につき打合せを行ふはずである、なほ企業整備勞務調整問題は次回の議題として今後幹事會、小委員會などで愼重協議を進めることになつた（仙臺）

伊政府の初閣議
ファシスト青年團解散

【ローマ五日發同盟】イタリア政府は五日午後五時から首相バドリオ元帥司會のもとに初閣議を開催したが重要決定事項左の通り

△法相の提案　一、現行イタリア民法ならびに刑法の條項でイタリア國民本來の『精神的法律的傳統』と相容れない條項を削除する

一、現行の司法手續規定第八十五條によればイタリア國の司法年度は專ら政治的理由に基き十月二十九日にはじまることゝなつてゐるが舊來の法律的傳統に則り司法年度を一月一日からはじめることゝする

△藏相の提案　一、戰死者ならびに戰爭を原因とする死者の相續者に金融上の特別援助を與へること

△文相の提案　一、ジル（リトリオ青年團）を廢止しファシスト青年團をも解散しこれら諸團體の附屬教育扶助機關を文部省に移管する

一、中等學校教育に關する扶助を目的とするアルナルド・ムッソリーニ財團を解散し、またファシスト體制以前のジウゼッペ・キルナー財團といふ名稱を復活し上院議員ルイジ・トリヴエリーニ氏が管理にあたる

一、哲學史教授ギドー・デ・ルギエロ氏、解剖學教授ギドー・コルテイ氏、哲學史教授ギドー・カロジエロ氏らの大學教授の復職を認める

△公共事業相の提案　一、一般住宅營團に對する四千萬リラの助成金を增加交付する

一、各大學における緊急建築事業の遂行を承認

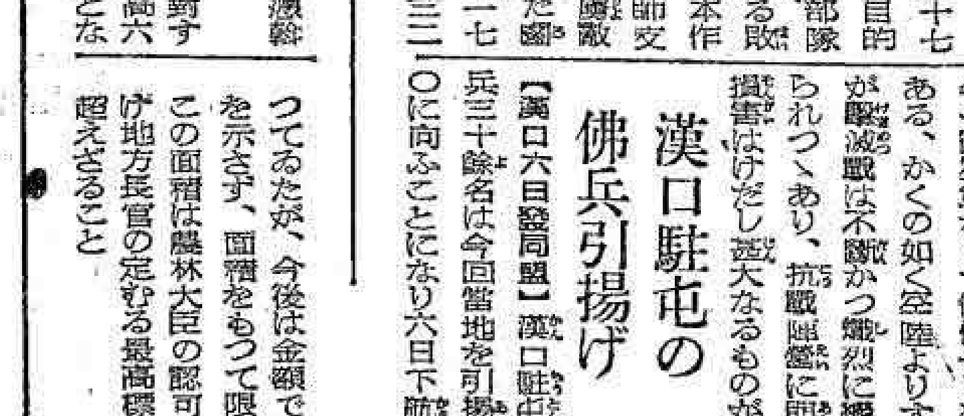
さらに農相が休閑地の利用その他につき提案を出し以上各案とも異議なく可決された

【ローマ五日發同盟】イタリア政府は五日開催された閣議で司法省大藏省、公共事業省關係の諸重要事項を決定したがさらに次の諸事項をも決定、特に組合省が廢止されて商務省の新設されたことは注目に價する

【組合省の提案】組合省を廢止して商務省を新設す、さらに各省組合評議會および各省物價統制自立經濟評議會はそれぞれ『經濟地方評議會』『産業及び勞務監理部』と呼ぶこととする

【文化宣傳省の提案】今後イタリア新聞に發表されるものはすべて文化宣傳省の檢閲を要す、しかして右に關連する責任は新聞紙の編輯者および經營者が負ふものとす、この狀態は戰爭終了後三ケ月間繼續するが、その後は『言論自由』の態制に復歸す

中國新聞



ウエルエ 萬年筆
書き味滿點
三円以上

貧血
パナギンブルート
喀血・吐血・腸出血・子宮出血による貧血・十二指腸蟲性貧血・惡性貧血に・文獻進呈
東京・豊島
大正製藥所

時局雜誌
八月號　四十錢　改造社發行
特輯　嵐を突破する伊太利
★バドリオ元帥―下位春吉
★グライダー發達史―木下智三郎
決戰下の思想問題（座談會）　森本忠・蓮田善明・阿部仁三
學鷲出陣・石上和夫
對內思想戰の反省・佐藤通次
日本世界觀の人々・馬場俊武
腐敗映畫を斬る・澤村勉
戰時日本三人男・伊藤金次郎
連載小說　玄洋社・尾崎士郎
朝鮮志願兵奮戰記・李允基

宮田東峰著
音樂に生きる
八月十日發賣
新刊弘報第四號新著參照　B6判二九二頁　價（稅共）二圓八錢　〒・一二
山田耕筰序
音樂を知らないでは、現下の國民精神生活の充實は期し難い。しかも日本精神を把握した音樂の確立は大東亞共榮圈の文化を指導するために國民の急務である。本書は情勢に副ふべく國民の必讀書として、著者が多年の體驗から正しく把握した音樂の全貌を平易に語つたもので內容を『民族的に見た音樂』『厚生運動から見た音樂』『國民生活から見た音樂』の三篇に分けて詳說したものであつて決戰下日本音樂樹立への野心的會心作である。
東京淀橋戶塚四丁目　振替東京四二九八一番
新興音樂出版社

J・クラウス著
回教の經濟倫理
九月中旬刊
本書は特に宗教社會學的見地から回教の經濟觀及實際の經濟活動を明かにせるもの、內外の文獻を涉く涉獵せる世界的著述。紙三圓
新村出著　南方記　二・五八
B・タウト著　日本文化私觀　三・三〇
B・タウト著　ニッポン　三・二〇
大川周明著　日本精神研究　一・〇四
秋山謙藏著
日本文化の推進
八月中旬刊
本書は著者の逞しき史論によつて展開された日本文化論であり、挿繪豐かな異色あるもの　原色版並に寫眞版十數葉　A五判三九二頁　價四圓六十八錢
東京駿河臺　明治書房　振替東京七〇五九二

相撲と野球
八月號　價九〇〒〇二　東京・博文館
橫綱双葉山と双葉山道場
◎橫綱双葉山に寄す　小島六郎
◎力士規七則に就て　若宮三郎
◎橫綱双葉山斷想　石川信吉
相撲道の理想　橫綱双葉山
道場精神を語る座談會
太宰府道場にて座談會
・相撲技變遷の私見　笠置山
・強豪を邀擊して　双葉山
巨豪の奮戰　玉垣
早大松井投手の追憶　河合君次
日本野球戰評論　鈴木・後樂園
日本野球半額優待券二枚つき

新偉人傳全集
全十五卷豫約募集！
新刊！
勤勞及一般青年の絕對支持　各卷二圓　書店にあり
松下幕の人々　山中峯太郎
吉野朝の人々　高須芳次郎
大維新の人々　前田河廣一郎
佐藤信淵　小野武夫著
烈女詩傳　下田惟直著
醫科學の三巨人　高橋爪惠著
紫式部　今井邦子著
聖雄ガンジー　野口米次郎
光圀と齊昭　高須芳次郎
獨逸二大技術者　川端勇男
獨逸空の巨人　中正夫著
不滅の科學者　矢川德光
北進の先驅者　和田政雄
富嶽人物傳　村上久吉
稻牛と天心　淨野晃
（目錄呈）
東京小石川小日向臺町　振替東京一七四四三番
潮文閣

青年文化全集
豫約制實施全國書店へ約乞
新刊！　各卷二圓　全國書店にあり
―權威者に依る權威書！―
叡智の泉、情操の海、奮流の大洋！
海外發展と青年　潮田讓著
南方と青年　守安新二郎
俳句と青年　荻原井泉水
宗教と青年　高神覺昇著
大東亞戰と青年　藤澤親風著
歐洲戰と青年　潮田常二良
國家と青年　藤澤親雄著
信念と青年　山中峯太郎
詩歌と青年　下村悌泰著
新聞社と青年　新明正道著
結婚と青年　石丸梧平著
文學と青年　舟橋聖一著
趣味と青年　下村宏著
水戶學と青年　高須芳次郎
人物と青年　木村毅
讀書と青年　黑川純一著